



校訓 響生・知性・至誠

農場通信



発行者 本吉響高等学校農業科
発行日 令和4年2月7日 第7号

立春を過ぎて、いよいよ春の訪れが待ち遠しいこの頃ですが、まだまだ、朝晩は氷点下の厳しい寒さが続いています。立春とは二十四節気の1つで春の始まりを意味する節気です。1年で最も昼の短い日である冬至と、昼と夜の長さが同じ日である春分の中間としてできたのが立春です。立春から88日目にあたる「八十八夜(はちじゅうはちや)」を種まきの目安としていました。気候が変わる境目になる時期で、八十八夜より種まきが早過ぎると、せっかく芽が出たとしても寒害のせいで枯れてしまう危険があります。遅れ過ぎると栄養不十分のまま育ってしまい軟弱な苗になり、収穫も減る可能性があります。そのため、八十八夜という日は大事な農業の目安とされてきました。

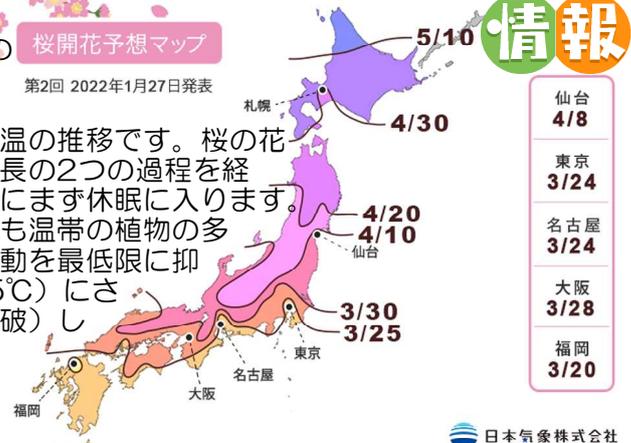
桜の開花予想発表! 今年は平年並みか?

日本気象株式会社は、1月27日に2022年第2回桜の開花・満開予想を発表しました。北海道から鹿児島までの全国約千箇所のソメイヨシノについて、今年の開花・満開予想を行っています。(仙台は4月8日頃の開花予想)

桜の開花・満開時期を左右するのは、前年の秋からの気温の推移です。桜の花の元となる花芽は開花前年の夏につくられ、①休眠、②生長の2つの過程を経て開花に至ります。花芽は形成されてもすぐには生長せずに入ります。これは寒く日も短い冬を生き抜くためのもので、桜以外でも温帯の植物の多くに見られる性質であり、冬を前に自ら葉を落とし生命活動を最低限に抑えます。そして、秋から冬にかけて一定の低温(-5~15℃)にさらされると春が近づいていることを感知して覚醒(休眠打破)します。

桜開花予想マップ

第2回 2022年1月27日発表



情報

仙台	4/8
東京	3/24
名古屋	3/24
大阪	3/28
福岡	3/20

日本気象株式会社



休眠打破後は生長段階に入り、春先の気温の上昇に伴い開花へ向かって生長していきます。この段階になると気温が高いほど生長の度合いも大きくなります。

卒業式の装飾に向けて準備が進んでいます



3月1日に実施する卒業式に向けて、草花温室ではシラネリアが順調に生育しています。昨年9月に播種し、年明けには花芽を形成し始めました。今年は例年よりも寒さが厳しく、低温の日が続きますが、早いものは今月中旬には開花する予定です。

3年次生はいよいよ卒業までカウントダウンとなりますが、門出を祝うべく、今後の栽培管理を丁寧に進めていきます。

3月1日の卒業式は豪華に飾ります。

サイネリアの花言葉は「快活」、「愉快」、「喜び」などがあります。これらは、サイネリアが冬の時期に明るく元気な花を咲かせることが由来となっています。



約900鉢を栽培中



中央に見えるのが花芽です

いよいよ春苗を播種しました

立春も過ぎていよいよ春が待ち遠しい時季となりましたが、農場も春の野菜や花苗等の種まき作業に追われています。今年も例年並みの作付けを予定しており、五月の連休明けに苗販売会を開催します。

朝晩の冷え込みは続いています。ハウスの内は春の暖かさです。



地産地消 豆腐づくりに挑戦!

2年次の「農業と環境」の中で、本校で昨秋に収穫した大豆を使用して豆腐づくりに挑戦しました。前日に大豆を浸漬し、ミキサーで粉砕後、鍋で煮た呉汁を絞りました。その後、にがりを加えて凝固させ、こし布に包んで一晩置くと完成です。風味が最高でした。



絹ごし豆腐の完成